

**製品名: RAF1 マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM81093**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	74kDa

**抗原情報**

遺伝子名	RAF1
別名	NS5; CRAF; Raf-1; c-Raf
遺伝子 ID	5894.0
SwissProt ID	P04049
免疫原	大腸菌で発現したヒト RAF1 の精製された組み換え断片。

**背景**

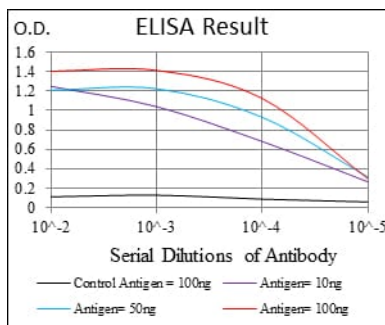
この遺伝子は、ウイルス性 raf 遺伝子 (v-raf) の細胞ホモログです。コードされているタンパク質は MAP キナーゼキナーゼキナーゼ (MAP3K) であり、膜結合型 GTPase である Ras ファミリーの下流で機能し、この Ras ファミリーに直接結合します。活性化される

と、細胞内の RAF1 タンパク質はリン酸化され、二重特異性タンパク質キナーゼである MEK1 および MEK2 を活性化します。MEK1 および MEK2 は、さらにリン酸化され、セリン/スレオニン特異的タンパク質キナーゼである ERK1 および ERK2 を活性化します。活性化 ERK は細胞生理学における多面的エフェクターであり、細胞分裂周期、アポトーシス、細胞分化、細胞遊走に関わる遺伝子発現の制御において重要な役割を果たします。この遺伝子の変異は、ヌーナン症候群 5 および LEOPARD 症候群 2 と関連しています。

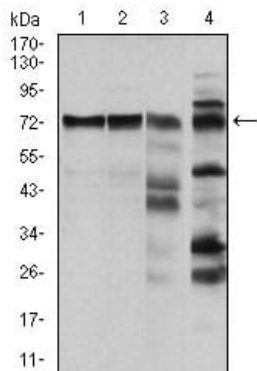
## 研究分野

PI3K-Akt シグナル伝達経路、mTOR シグナル伝達経路、MAPK シグナル伝達経路、Jak-STAT シグナル伝達経路

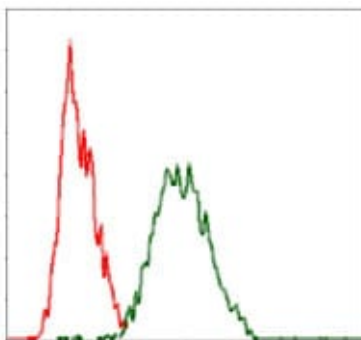
## 画像データ



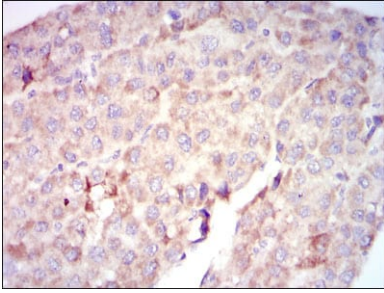
黒線: コントロール抗原 (100 ng); 紫線: 抗原 (10 ng); 青線: 抗原 (50 ng); 赤線: 抗原 (100 ng);



Hela (1)、A431 (2)、Cos7 (3)、C6 (4) 細胞溶解物に対する RAF1 マウス mAb を用いたウエスタンブロット分析。



RAF1 マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (赤) を使用した HeLa 細胞のフローサイトメトリー分析。



RAF1 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト肝臓癌組織の免疫組織化学分析。